

まるりん通信



発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911

～のんびりゆったり里のエコツアー～

『口永良部島』参加者募集

語り部と口永良部島を『のんびりゆったり』
歩いてみませんか。

開催日：10月26日(土)～27日(日)

定員：15名(定員に達し次第募集終了)

参加料：15,000円(宿泊料・食事代・保険料等)

※交通費(往復)は、別途で自己負担になります。

※宿泊施設が相部屋になる可能性があります。

募集期間：10月1日(火)～10月12日(土)

※参加決定は先着順になります。

集合場所：口永良部島(本村港)

集合時間：午前10:00

※現地集合、現地解散になります。

問合せ・申込：文化村センター(担当：寺田)

TEL 0997-42-2900 FAX 0997-49-1018

MAIL zaidan11@yakushima.or.jp



星空観察会(9月)

日時：9月20日(金) 19:30～21:00
(19:00受付開始)

場所：安房小学校校庭, 体育館

内容：天文教室, スターウォッチング, クイズ大会

※ 事前申込等不要, 参加費無料

問合せ：研修センター TEL 46-2900

『屋久島里めぐり』展

期間：9月3日(火)～10月31日(木)

時間：9:00～17:00(入場無料)

場所：屋久島環境文化村センター交流ホール

内容：「屋久島里めぐり」や
集落の様子を写真展示

問合せ：村センター TEL 42-2900



【休館日】

村センター

10/7(月) 10/15(火) 10/21(月) 10/28(月)

研修センター

10/7(月) 10/15(火) 10/21(月) 10/28(月)

【子どもの入館料無料】

村センターは、土・日・祝日の入館料が無料です。

- ・対象者：県内在住の小・中・高校生(18歳以下)
- ・その他：入場時に年齢や住所を確認できる書類を提示してください。
(生徒手帳や健康保険証など)



インストラクターだより

「厄介者」か「ごちそう」か？

インストラクター 中村 幹

このところ、研修センターの周辺でシカを見かけることが多くなったように思います。

屋久島に住んでいるシカはヤクシカと呼ばれ、東アジアに広く棲息する「ニホンジカ」という種類のシカの中でも、ここ屋久島と口永良部島にだけ棲息するひとつのグループのことを指します。

ニホンジカは、その繁殖能力の高さと旺盛な食欲から、近年では日本全国で農作物や森林の草木を食害してしまう事が問題視されており、被害防除のため有害鳥獣としての駆除が行われていますが、なかなか解決には至っていないのが現状です。ヤクシカについても、実際に農作物や森林への被害が知られています。

さて、シカと言えば重要な側面がもう一つ。食用としてのシカ肉の利用についてです。昨今のジビエブームは言うまでもなく、ニホンジカは有史以前から重要な食糧資源として利用されてきました。

安房にて島内で捕獲されたシカの食肉加工及び販売を行っている「屋久鹿ジビエ王国」さんでは、ヤクシカの肉を島の特産品としてPRしています。土壌が貧栄養な屋久島で育ったヤクシカの肉は、一般的なシカ肉に比べてクセが無く、香辛料も少量で調理が出来るのでよりシカ肉本来の味が楽しめるのだとか。

ただ有害鳥獣として処分してしまうよりも、屋久島の森がはぐくんだ資源として日々のちょっとしたごちそうに、まずは美味しく「活用」するべきなのかもしれません。

財団活動報告

☆ホームステイプログラム in 屋久島

8月24日(土)から26日(月)までの3日間、鹿児島市内の大学に留学中の学生を対象としたホームステイを実施しました。

鹿児島大学と鹿児島国際大学の留学生14名の参加があり、ホストファミリーと、屋久島の歴史や文化を学びながら、自然体験、料理体験など、島の家庭生活を満喫しました。



☆教員向け自然体験活動研修(8月23・24日)

島内小・中・高等学校の先生方を対象に、子ども達との自然体験活動を通じた環境学習の充実を目指して研修を実施しました。

研修では、ネイチャーゲームやウォークラリー、竹炊飯や生き物観察など、自然に関する特別な知識がなくても、豊かな自然の持つさまざまな表情を楽しめる自然体験活動を通して意義や効果を実感していただくことができました。



屋久島を想う

研修センター 眞邊利加子



「世界自然遺産の島」と言われても、「九州一高い山」とか「樹齢数千年」とか言われても、何が凄いかよく分からない。屋久島は自分の育った場所という認識にしか過ぎなかったため、その素晴らしさをよく理解していませんでした。

しかし、研修センターに来て数か月、“知ること”で、見える世界が広がるということに気づきました。屋久島の成り立ちを知り、世界自然遺産に登録された理由を知り、屋久島にだけ生きる植物や動物がいることを知り…。 “知ること”で、ただ「自分の育った場所」としてではなく、「屋久島」としての姿がやっと見えてきたように思います。

より多くの人にこの素晴らしさを伝えられるように頑張ります。と書きたいところですが、伝えるって結構難しいということも研修センターに来て学びました。人に何かを教えるためには相手の3倍知識が必要とどこかで聞いたので、まずは私が勉強します。“知る”ことを通して、屋久島を見つめなおし、おもしろい!と思ったことを身近な人に話すことから始めたいです。